

2022 年度（令和4年度）

「不祥事防止委員会」年間研修計画

期 日	重点テーマ	担当	留意点
5月	公金の取扱い・服務規律・接遇 児童の心に寄り添う指導	教頭 生徒指導主事	◇研修担当 ・校務分掌に応じ、できるだけ多くの職員が担当することで、当事者意識の醸成を図る。 ◇研修方法 ・「教職員による不祥事の根絶」（広島県教育委員会）等の資料による理論研修 ・教育公務員としての法規演習 ・マスコミの報道資料 ・ワークショップ型研修 ・ロールプレイ等 ◇研修テーマ ・年間計画に基づき、適切なテーマを設定する。
6月	体罰防止	高学年	
8月	台風等への対応 個人情報の保護・著作権 健康管理 VDT 児童の事故防止(校内) パワハラ・セクハラ防止	教頭 情報担当 養護教諭 事務主幹 保健主事 教務主任	
11月	ストレスマネジメント	中学年	
12月	職員の交通事故・飲酒運転等防止	保健主事	
1月	服務規律（法令法規研修） 次世代育成支援対策	教務主任 低学年	
3月	個人情報の保護	教頭	

～ 服務研修の更なる充実に向けて ～

- 全ての教職員が、課題に対して組織で対応するという意識をもつ。（「報告・連絡・相談」を習慣化し、不祥事〇の意識を持つ。）
- 緊急性のある事案については、早急かつ迅速に委員会を開催する。内容によっては十分に時間を確保し、状況や事実を具体的に把握し、迅速に対応していく。
- 「教育相談窓口」を学年実態に応じて説明するとともに、学校だよりで周知徹底を図る。
- 家族を含め、周囲にどういった影響を与えるのかを自覚させる研修やより体験的な研修を取り入れ、研修効果が実感できるようにする。
- 校務分掌に応じて職員が研修を担当することで、当事者意識を高め、研修に取り組めるようにしていく。
- 不祥事未然防止のためのチェックシートを活用して、自らを振り返る。
- 文書持ち出し、個人情報の取扱い等、職場で決めたルールを確実に実行する。
- 教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めていく。職場のネットワーク、雰囲気作りを通して、日頃感じている事が出し合える職場環境を築いていく。
- 信用を失いかねない行為に対してお互いに声を掛け合える（気づける）人間関係作りを行う。